

会議結果

会 議 名	第 11 回西尾市行財政改革推進委員会
日 時	令和 4 年 1 月 12 日（水） 午前 9 時 30 分～午前 10 時 40 分
場 所	西尾市役所 22 会議室（2 階）
出 席 者	委員…榎野委員、三浦委員、小島委員、尾崎委員、杉浦委員、中根委員、久世委員、石崎委員 事務局（企画政策課）…藤井課長、鈴木課長補佐、宮嶋主任主査、三浦主事
鈴木課長補佐が会議を進行。 会の成立を報告。 会議の概要は次のとおり。 1 協議事項 第 6 次実行計画について 榎野委員長が進行。 宮嶋主任主査から説明。計画の最終案を協議 ・ 本文 ・ 第 1 号 ふるさと納税制度の充実 委員：寄附額はなぜ増えたのか。 事務：コロナによる需要増、ポータルサイトのブラッシュアップ、ポータルサイト独自のキャンペーンが影響している。 委員：スケジュールに関して、1 回だけのマイルストーンだけでなく、振り返りできるようにしてほしい。 委員：目標値は寄附額でも良いが、市民が他市に寄附したマイナスの費用との差額で考えた方が良い。 事務：令和 2 年度からは差額も黒字になっている。出ていく分を抑制することはできない。 寄附額を増やす努力をしていく。 ・ 第 2 号 公共施設使用料の適正化 ・ 第 3 号 ネーミングライツ制度の推進 ・ 第 4 号 西尾市ごみ指定袋への広告掲載 ・ 第 5 号 A E D 収納ボックスへの広告掲載 ・ 第 6 号 公共施設照明器具の L E D 化 委員：リースと工事の比較について様々な議論がなされた。深堀して見直しが可能であれば取り組んでいただきたい。 ・ 第 7 号 集中管理者の台数削減 委員：計画ありきで進めて結果の分析をしないことがある。振り返りが行われにくい案件である。振り返りを忘れないようにしてほしい。 ・ 第 8 号 電力契約の適正化 委員：効果額が変わったが誤りだったのか。 事務：常に注視したいという意図で、定価との比較で効果額を算出していたが、他の計画と同様令和 3 年度実績との比較に変更したもの。	

- ・第 9 号 障害者就労支援施設への業務委託推進

委員：横展開、波及効果の高い計画である。

委員：草刈り限定の話なのか。

事務：除草の話。効果が出ているので増やしていきたい。

- ・第 10 号 行政手続きのオンライン化推進
- ・第 11 号 ノーコードツールの導入
- ・第 12 号 支所WEB会議システムの導入
- ・第 13 号 共通手引き・マニュアルの整理

委員：効果の定量化は難しいが敢えてお願いした。目的に対するフォローを実施してほしい。手段が目的化しないように。

- ・第 14 号 業務応援制度の整備
- ・第 15 号 年次有給休暇の取得推進（プラスワン制度）

意見は以上のとおり。

最終案に異議なく承認された。

副委員長からの感想：PDCAの徹底がワーキング含め浸透してきたと思う。担当課への浸透は企画政策課が頑張っていくしかない。

委員長からの感想：委員、検討部会のメンバー、事務局にお礼申し上げる。実行計画がスタートになる。ここから具体化し詳細の計画になっていく。マイルストーンを作ってPDCAが回る計画になっていくかが重要。企画政策課の役割である。

これまで職員の意識改革という観点からも意見を述べさせてもらった。行財政改革というが業務改革である。業務改革とはなににおいてもより良くするための活動と定義している。組織としてのビジョン、バリューを共有化しないと目標・目的がバラバラになってしまう。なんのためにやるかを決める、迷ったときにはそこに立ち返るべきである。そのためには業務の棚卸し、プロセスの棚卸しをし、見える化する必要がある。自分の立ち位置や市民サービスがどのレベルにあるかを情報収集し、どうしたらできるかを考えてほしい。

部局間の壁を検討部会のメンバーから感じた。壁なくなんでも言える環境づくりが必要。壁がなくなれば組織が変わる。

定量的目標、質的目標、時間軸、マイルストーンの時期、目標の達成レベルを見える化することをお願いしたい。

2 その他

今後のスケジュールを確認。今回は最後の委員会となる旨を報告。

企画政策課長からお礼

以上、午前 10 時 40 分終了